

地上デジタル放送完全移行

2011年7月24日まであと **334日**

現在のアナログ放送は終了いたします。



道内における 「地デジ」の現状

平成22年8月24日

総務省北海道総合通信局
総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）
総務省地デジチューナー支援実施センター
北海道
北海道地上デジタル放送推進協議会



目次

I	新たな難視の現状	
1	北海道管内の新たな難視地区の現状（8月公表値）	1
2	「地上デジタル放送難視対策計画（第3版）」の概要	2
3	自治体説明及び対策手法に伴う工事実施に向けたフロー	3
4	作業員の身分証明証について	4
II	受信障害対策共聴施設のデジタル化の現状	
1	辺地共聴施設のデジタル化改修状況	5
2	ビル陰等による受信障害対策共聴施設のデジタル化対応状況	6
3	受信障害対策共聴施設のデジタル化対策	7
4	デジタル化の対策スキーム	8
5	デジタル化対策のスケジュール（予定）	9
6	エリア対策の実施状況・スケジュール（予定）	10
III	視聴者の受信対策支援	
1	道内デジサポの対応状況（高齢者等に対する説明・相談会、戸別訪問の実施状況）	11
2	道内デジサポの対応状況（高齢者等に対する説明・相談会における主な問い合わせ内容）	12
3	道内デジサポの対応状況（受信相談件数、訪問相談件数）	13
4	7月24日「日本全国地デジカ大作戦」イベント開催時の入電状況	14
5	地上デジタル放送受信機器購入等支援	15
IV	（添付資料）	
	◆地上デジタル放送に関するお問い合わせ先	16
	◆本資料についてのお問い合わせ先	17



新たな難視地区及び難視世帯数

※ ICT交付金の整備地区を確定したため大幅増

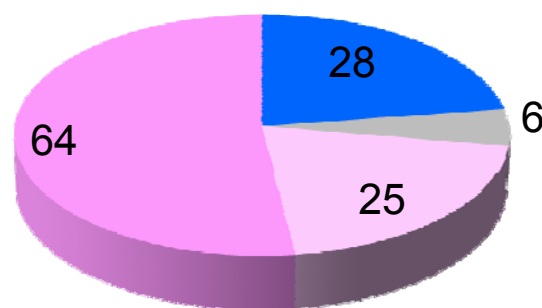
	1月末公表値	4月末	5月末	8月公表値
難視地区数	525地区	788地区	1,003地区	1,095地区
難視世帯数	3,893世帯	5,438世帯	6,302世帯	8,493世帯
自治体数	89自治体	106自治体	114自治体	123自治体

8月公表値の世帯規模別一覧

1～5世帯	817地区	1,772世帯
6～10世帯	139地区	1,044世帯
11～20世帯	82地区	1,155世帯
21～30世帯	19地区	479世帯
31～50世帯	19地区	729世帯
51～100世帯	10地区	790世帯
101世帯以上	9地区	2,524世帯
合計	1,095地区	8,493世帯

新たな難視地区の対策計画策定状況

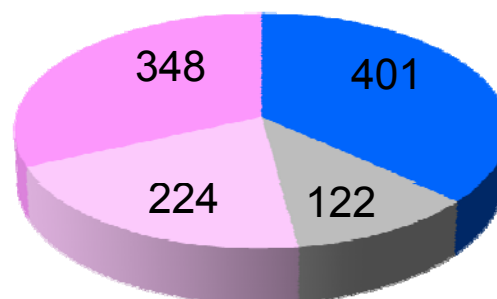
①自治体別対策計画策定状況



- 対策計画確定
- WL含む対策計画確定
- 対策検討中
- 対策計画未定

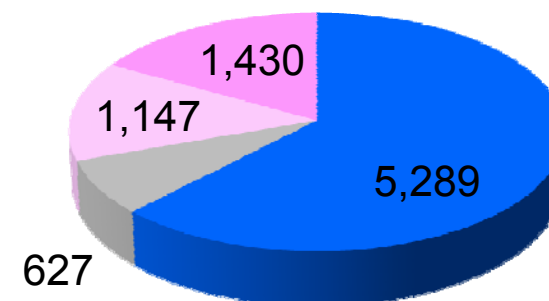
(一部確定を含む)

②地区数別対策計画策定状況



- 対策計画確定
- ホワイトリスト確定
- 対策検討中
- 対策計画未定

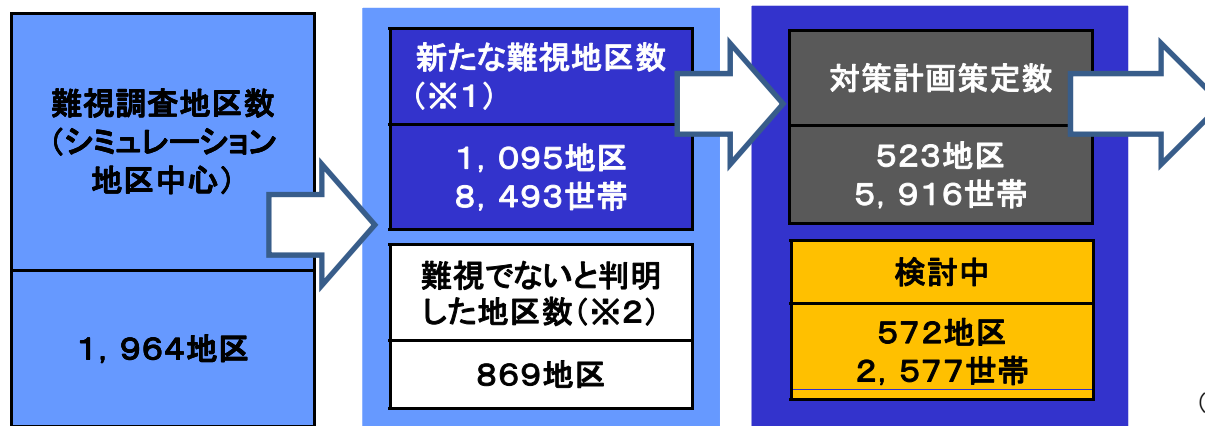
③世帯数別対策計画策定状況



- 対策計画確定
- ホワイトリスト確定
- 対策検討中
- 対策計画未定

- 平成21年(2009)年末までに開局したデジタル中継局関連地区を中心に、北海道管内 1,964地区について電波の実測調査を実施し、新たな難視地区として1,095地区(8,493世帯)を特定。その状況(難視範囲、世帯数等)及び対策計画が確定した523地区(5,916世帯)の、対策手法、対策時期等を掲載。
- 今後、2010年中に開局するデジタル中継局関連地区や地元から申告のあった地区について調査を継続。
- この他、デジタル化困難共聴施設についても掲載。

新たな難視地区の特定・対策計画策定状況(第3版:8月10日公表)



〔新たな難視地区における対策手法別内訳〕

①中継局の設置	6地区 (911世帯)[3局所]
②共聴施設新設	51地区 (1,580世帯)
③CATV加入	278地区 (2,629世帯)
④高性能アンテナ対策	66地区 (169世帯)
⑤(仮)衛星対策(※3)	122地区 (627世帯) (148地区(※4))

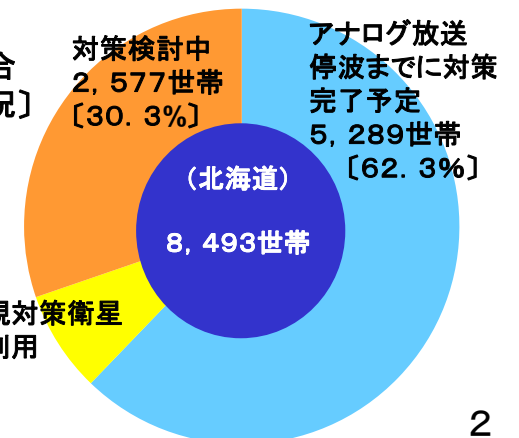
(※3) 暫定対策であり、2015年3月末までの間で、共聴新設等の恒久的な対策を実施することとなるもの。

(※4) 「地デジ難視対策衛星放送リスト(ホワイトリスト)」は町丁目単位となるため地区数の表現が異なる。

(※1) 新たな難視とは電波の特性の違い等により、アナログ放送は受信可能であるが、デジタル放送は受信困難となる地区

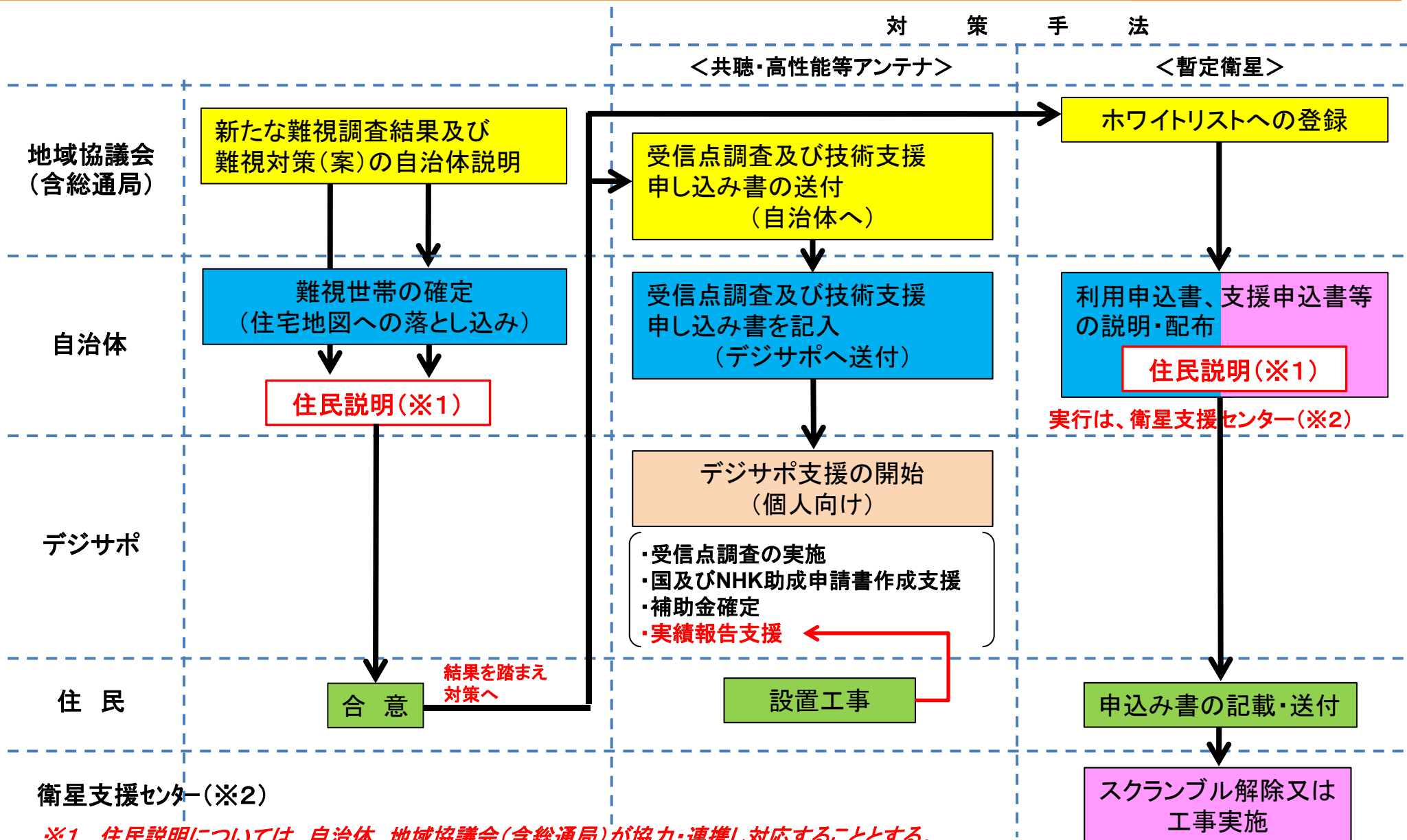
(※2) 「新たな難視世帯ではないと判明した地区」は、デジタル放送の良視地区のほか、受信世帯がない地区(ケーブル/共聴施設による受信地区を含む)。

〔世帯数で見た場合の対策実施状況〕



〔参考:これまでの新たな難視地区の特定・対策計画策定状況〕

	難視調査地区数	新たな難視地区数	対策計画策定数
対策計画(初版) (H21年8月公表)	616地区	316地区 1,750世帯	なし
対策計画(第2版) (H22年1月公表)	1,013地区	525地区 3,893世帯	37地区 792世帯



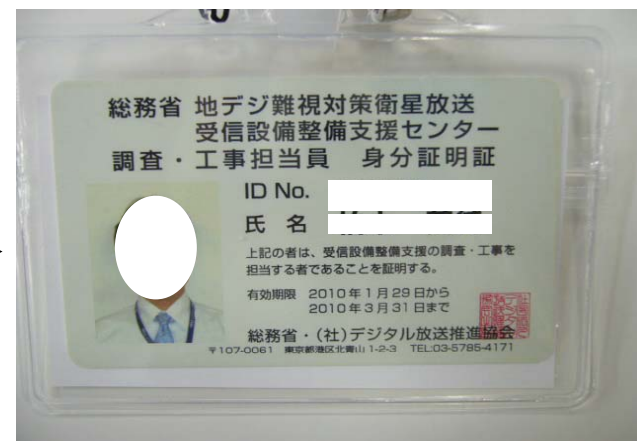
※1 住民説明については、自治体、地域協議会(含総通局)が協力・連携し対応することとする。

※2 地デジ難視対策衛星放送受信設備整備支援センター(パナソニックテクニカルサービス株式会社)

身分証明証・腕章 装着例



身分証明証



総務省 地デジ難視対策衛星放送
受信設備整備支援センター
調査・工事担当員

腕章



・当センターの作業員が対象世帯様を訪問し作業を行う際には必ず上記の「身分証明証」と「腕章」を携行しています。

※上記「身分証明証」と「腕章」を携行していない不審な作業員にはくれぐれもご注意ください。

自主共聴施設

- 7月末現在、137施設(改修率39.5%)のデジタル化が完了。
- 補助金・ICT交付金を活用し改修を進めている施設を含め、242施設(改修率69.7%)のデジタル化改修が進む。
- デジタル化未改修の105施設について、関係自治体との連携で改修等の計画を着実に進める。

NHK共聴施設

- 7月末現在、229施設(改修率60.1%)のデジタル化が完了。
- ICT交付金によるケーブルの巻き取り施設を含め、265施設(改修率69.6%)のデジタル化改修が進む。
- デジタル化未改修の116施設について、NHKの責任において、計画的に改修を進める。

北海道内の辺地共聴施設デジタル化改修進捗状況

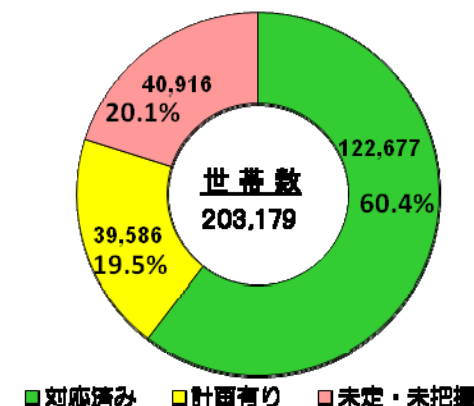
平成22年7月末現在

	総施設数	改修完了		辺地補助金・ICT交付金活用により改修を行っている施設を含めた場合の進捗の見込み					未改修又は個別受信
		デジタル化対応済み	進捗率	デジタル化対応済み	補助金	ICT交付金	デジタル化見込み	進捗率	
自主共聴	347	137	39.5%	137	43	62	242	69.7%	105
NHK共聴	381	229	60.1%	229	0	36	265	69.6%	116

- 平成22年3月末のロードマップ公表時点に比べ、施設数が5,550→5,593(43施設の増加)、改修率1.7%増加。
- デジタル改修「未定」施設を対象に、デジサポによる施設管理者訪問や加入者への個別受信移行について周知。

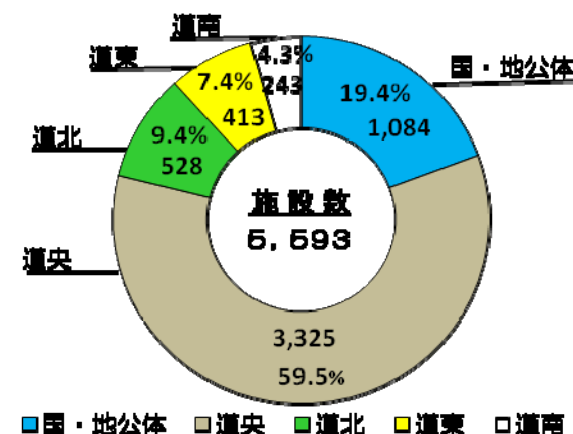
デジタル化対応状況	施設数	比率	世帯数
デジタル対応済み施設	3,503	62.6%	122,677
デジタル化計画あり施設	782	14.0%	39,586
(国・地公体)	(188)		7,986
(デジサポ道央)	(374)		21,384
(デジサポ道北)	(104)		4,557
(デジサポ道東)	(62)		4,257
(デジサポ道南)	(54)		1,402
未定又は未把握	1,308	23.4%	40,916
合計	5,593	100%	203,179

世帯数で見た場合のデジタル化率

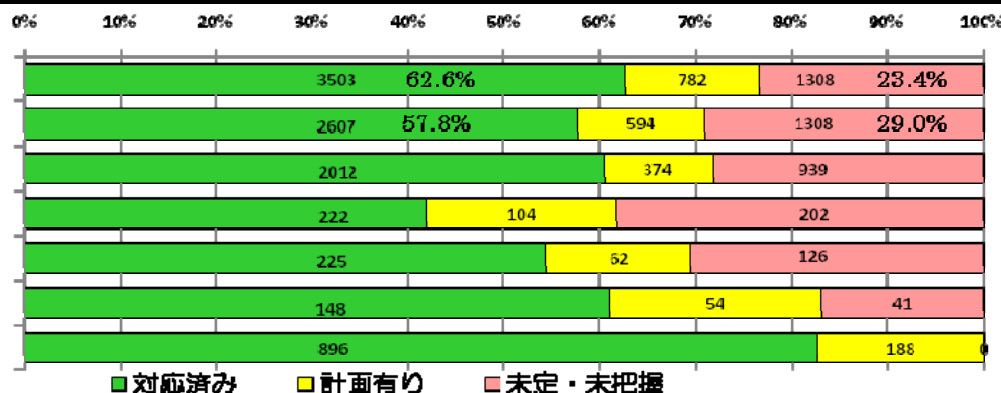


一般施設	施設数	対応済み	計画あり	未定	世帯数
施設数	4,509	2,607	594	1,308	158,917
(デジサポ道央地区)	(3,325)	(2,012)	(374)	(939)	125,423
(デジサポ道北地区)	(528)	(222)	(104)	(202)	15,513
(デジサポ道東地区)	(413)	(225)	(62)	(126)	14,450
(デジサポ道南地区)	(243)	(148)	(54)	(41)	3,531
比率	100%	57.8%	13.2%	29.0%	---

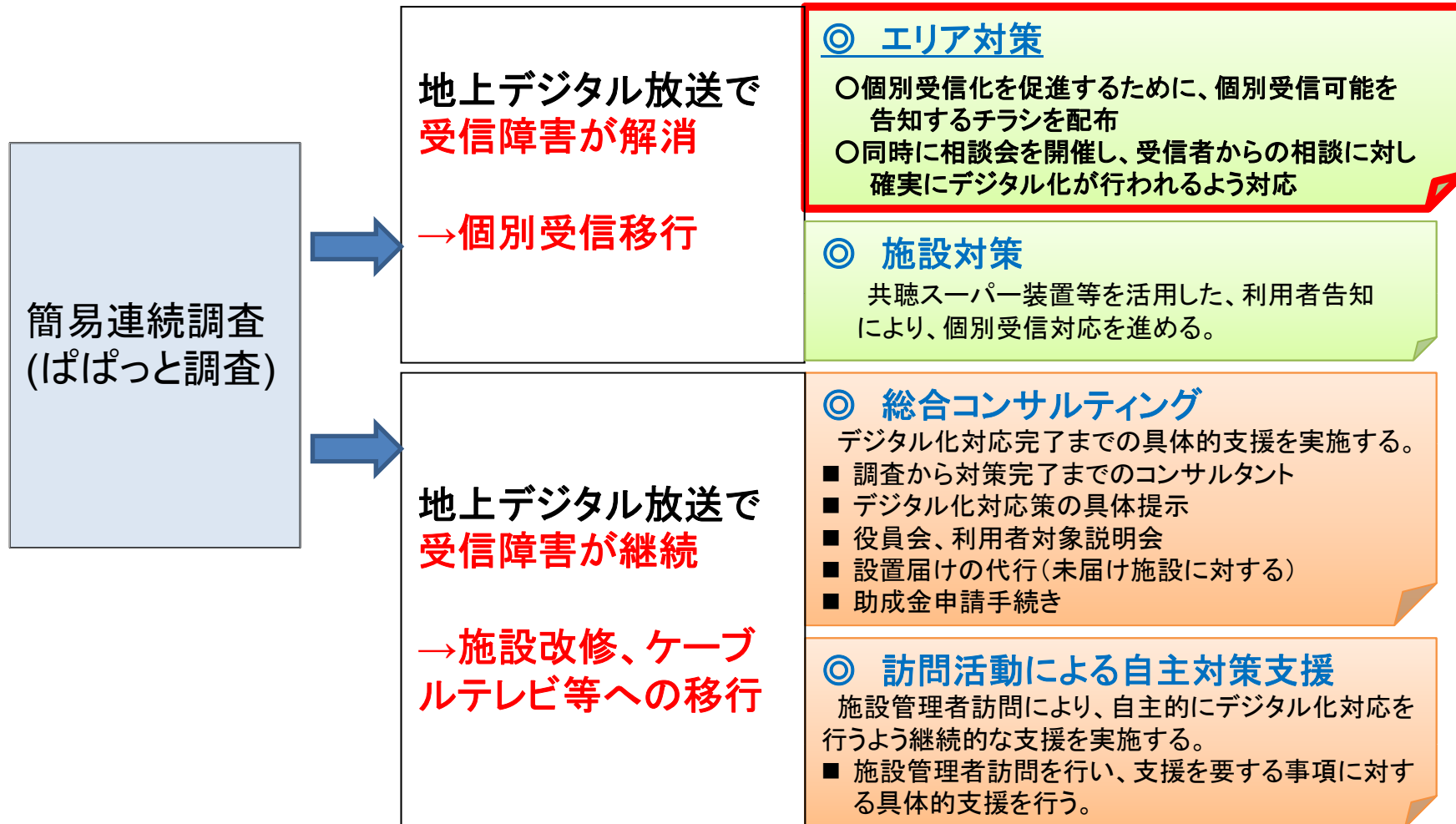
国・地公体、デジサポ地域別施設数



国・地公体施設	施設数	対応済み	計画あり	未定	世帯数
施設数	1,084	896	188	0	44,262
比率	100%	82.7%	17.3%	0	---

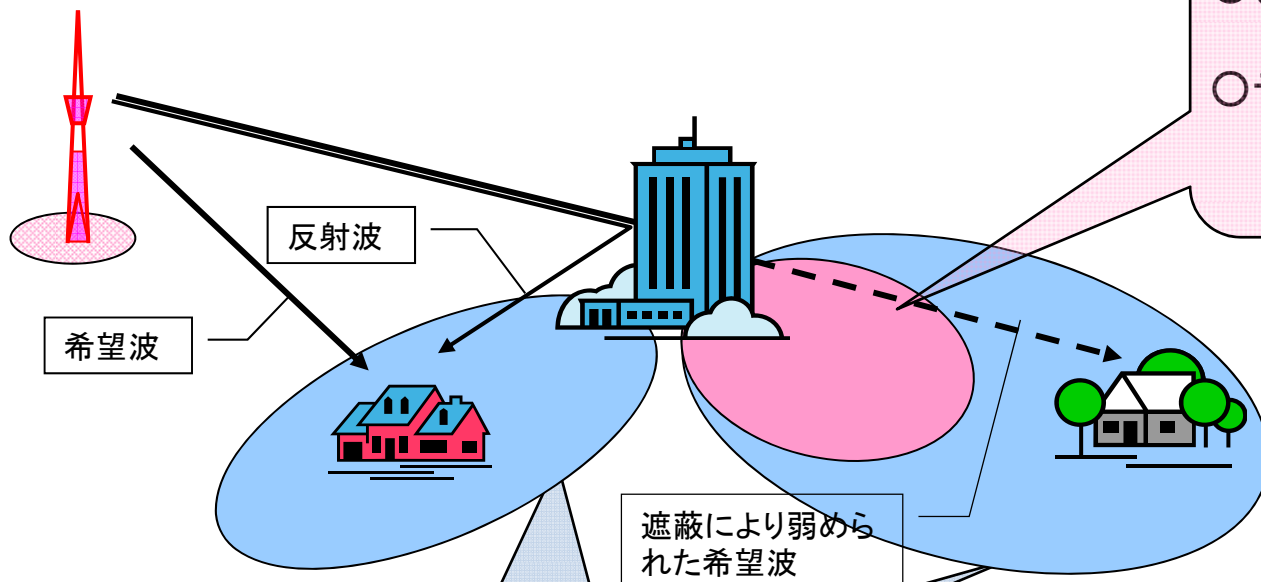


- 地上デジタル放送では、ほとんどの受信障害共聴施設で個別別受信が可能
- 効率的にデジタル化を推進するため、エリア対策を中心に取り組み実施
- デジタル化「未定」施設のうち8割程度を「エリア対策」で、2割を「総合コンサルティング」、「自主対策支援」、「施設対策」で実施予定



○ 地上デジタル放送では、建物による受信障害が大幅に減少

■ デジタル化対策のイメージ



○アナログ放送の受信障害地域で、**デジタル放送でも受信障害が継続**
○デジタル化への対策
・総合コンサルティング
・訪問活動による自主対策支援

○アナログ放送の受信障害地域で、**デジタル放送では受信障害が解消**
○デジタル化への対策
・**エリア対策**
・施設対策

<エリア対策>

- ① デジタル放送では受信障害が解消し、個別受信可能な地域
- ② デジタル受信可否の簡易調査結果をパンフレットで周知し、個別受信移行を促進
- ③ 相談会の開催

Ⅱ 受信障害対策共聴施設のデジタル化の現状
 5 デジタル化対策のスケジュール（予定）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<p>エリア対策・施設対策</p>											
<p>総合コンサルティング・訪問活動による自主対策支援</p>											

エリア対策実施状況（7月末速報値）

一般施設	受信障害対策共聴施設数				エリア対策済施設数 （7月末速報値）
	施設数	対応済み	計画あり	未定(エリア対策対象)	
道内施設数	4,509	2,607	594	1,308	327

○受信障害対策共聴のデジタル化「未定」施設を対象に
6月・7月で327施設のエリア対策を実施

今後のエリア対策（予定）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
デジサポ 道央	札幌市厚別区 " 手稲区 " 清田区 江別市 室蘭市	札幌市南区 " 中央区 苫小牧市	札幌市南区 " 北区 " 東区 小樽市	札幌市豊平区 " 北区 " 白石区 " 西区 恵庭市	札幌市西区 恵庭市		北広島市 岩見沢市 室蘭市
デジサポ 道北			旭川市 北見市	旭川市、北見市 名寄市、美幌町	旭川	旭川	
デジサポ 道東		釧路市 音更町	帯広市	帯広市 中標津町	釧路市	根室市	
デジサポ 道南	函館市	函館市	函館市	函館市			

Ⅲ 視聴者の受信対策支援

1 道内デジサポの対応状況(高齢者等に対する説明・相談会、戸別訪問の実施状況)

- 道内デジサポでは、地方公共団体の協力を得ながら、公共施設等を利用した高齢者等に対する説明・相談会を実施中。
- 説明会に参加できない高齢者世帯を中心に、電器店の協力も得ながら個別訪問による説明・サポートも実施。

平成22年度における相談・説明会、個別訪問の実施状況(7月末現在)

支援センター	定点(スポット)相談会 (公共施設等で計画的に開催)		連動説明会 (定点相談会の会場において説明会を併せて開催)		デマンド説明会 (自治体・町内会・老人会等の要望に応じて開催)		イベント説明会 (地域のイベントと併せ開催)		戸別訪問 (地デジサポーターによる訪問説明)	
	実施回数	相談件数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	デマンド対応数	能動型対応数
デジサポ道央	422	2,051	123	365	10	283	1	612	2	1,184
デジサポ道北	184	3,108	41	1,418	2	123	4	3,568	1	356
デジサポ道東	244	1,029	33	878	19	1,600	2	2,250	1	81
デジサポ道南	94	725	34	269	2	61	2	1,653	2	234
道内合計	944	6,913	231	2,930	33	2,067	9	8,083	6	1,855



札幌市での相談会の模様

個別訪問

「デジサポーター」(電器店が戸別訪問する場合の名称)であることを証明するため、戸別訪問時は必ずID、腕章、ユニフォームを着用。



スポット調査に基づく説明・相談会におけるデジサポへの相談件数及び内容(サンプル調査)

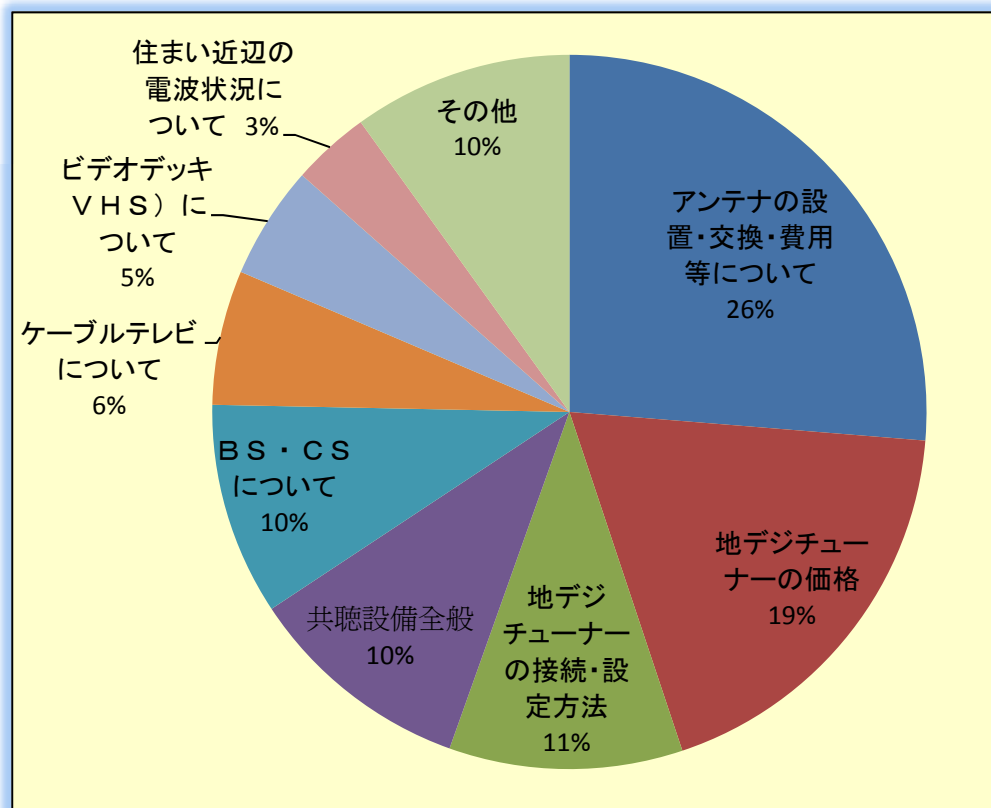
〔調査サンプル〕

●期間：平成22年7月1日～31日

●開催地：札幌市(中央区、南区)、苫小牧市(相談会開催回数 136回)

問い合わせ内容	問い合わせ数
アンテナの設置・交換・費用等について	82
地デジチューナーの価格	58
地デジチューナーの接続・設置方法	33
共聴設備全般	32
BS、CSについて	30
ケーブルテレビについて	19
ビデオデッキ(VHS)について	16
住まい近辺の電波状況について	11
その他	31
合計	312

問い合わせの割合



平成22年度における道内デジサポの受信相談件数と訪問受信相談件数

	4月		5月		6月		7月		累計	
	受信相談件数	訪問受信相談件数	受信相談件数	訪問受信相談件数	受信相談件数	訪問受信相談件数	受信相談件数	訪問受信相談件数	受信相談件数	訪問受信相談件数
デジサポ道央	70	44	144	70	241	109	431	123	886	346
デジサポ道北	43	10	53	14	123	19	166	26	385	69
デジサポ道東	7	5	23	12	66	34	98	22	194	73
デジサポ道南	27	1	19	7	54	11	74	10	174	29
合計	147	60	239	103	484	173	769	181	1,639	517

主な相談内容

- ・ 時間帯や天気、季節により、映りが悪くなる。（特定CHの映りが悪い）
- ・ 障害共聴加入だが、管理者から地デジ対応しないとされた。どうすればよいか。
- ・ 障害共聴加入だが、管理者が分からない。調べられないか。
- ・ アナログは障害共聴で視聴。デジタルは個別受信可能か。
- ・ 地デジが全CH映らない。（中継局未開局、アンテナ方向調整、CH未設定などの理由）
- ・ 中継局の開局はいつか。
- ・ 電器屋さんで地デジ難視と言われた、地デジ難視のようだが、調査をお願いしたい。

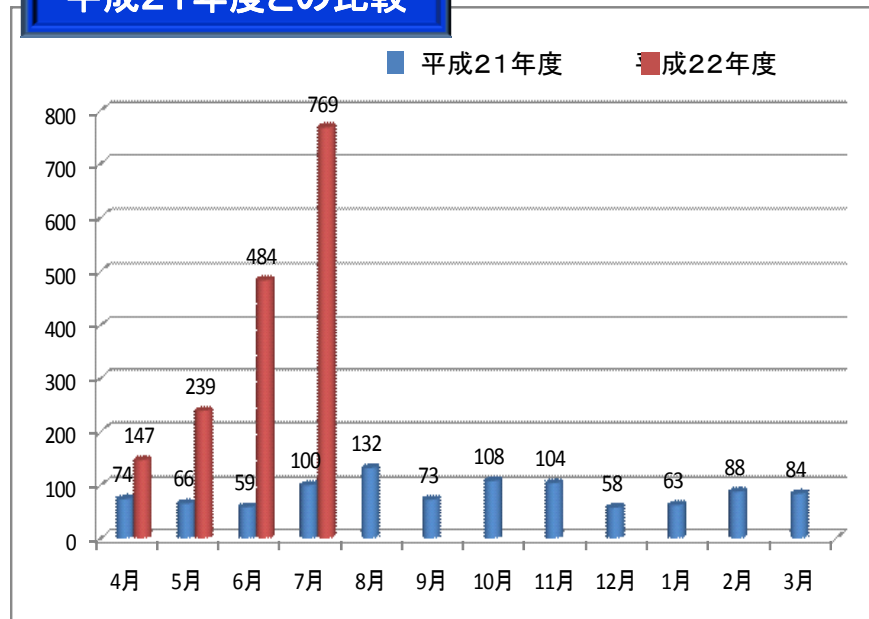
◆ 受信相談件数の傾向

- ・ 4月以降、相談件数増加。特に、7月24日「1年前イベント」以降急増
- ・ 訪問受信相談業務の訪問回数も増加

◆ 今後の対応

- ・ 電話相談体制、訪問受信相談体制の拡充を検討

平成21年度との比較



「日本全国地デジカ大作戦」イベント開催日の地デジコールセンター等への入電状況

	入電総数 (1週間前) (1年前)	応答件数 (1週間前(2010年7月17日)) (1年前(2009年7月24日))			備考
		ナビダイヤル	デジサポ	IP	
9:00-10:00	1,999 (386) (219)	369 (217) (200)	235 (88)	17 (8)	
10:00-11:00	1,906 (385) (4,489)	309 (182) (357)	178 (62)	14 (10)	
11:00-12:00	2,343 (366) (3,626)	264 (186) (336)	194 (53)	14 (7)	11:00-11:55「田勢康弘の週刊ニュース新書(テレビ東京)」 (草薨剛出演)
12:00-13:00	3,902 (372) (564)	176 (122) (306)	117 (52)	9 (5)	12:15-12:40「地デジ笑百科(NHK)」 12:40-12:41「全国地デジ化テスト～アナタの家は地デジ化済んで ますか?(NHK)」
13:00-14:00	3,712 (413) (965)	207 (134) (319)	129 (52)	8 (7)	9:30-14:00「王様のランチ(TBS)」(草薨剛出演)(13:30頃) 13:50-14:00「地デジにガッテン(NHK)」
14:00-15:00	3,952 (289) (1,394)	278 (132) (321)	167 (60)	12 (7)	14:00-15:00「土曜スタジオパーク(NHK)」
15:00-16:00	2,450 (315) (856)	295 (167) (350)	168 (72)	9 (4)	
16:00-17:00	2,925 (252) (461)	309 (153) (319)	141 (57)	11 (9)	16:30-16:50「デジタルテレビライフがやってきた!『アンテナチェック はお済みですか?』(NHK)」 16:50-17:00「デジタル放送普及ドラマパート2「割れたせんべい」 (NHK)」
17:00-18:00	2,592 (459) (261)	384 (202) (223)	167 (48)	12 (8)	17:34-17:35「全国地デジ化テスト～アナタの家は地デジ化済んで ますか?(NHK)」 17:35-17:58「続・我が家の地デジ奮闘記(NHK)」
合計	25,781 (3,237) (14,919)	2,591 (1,495) (2,963)	1,496 (544)	106 (65)	19:30-20:44「ワンダー×ワンダースカイツリー特集(NHK)」 23:00-23:54「SmaSTATION!!」(テレビ朝日)(草薨剛出演)

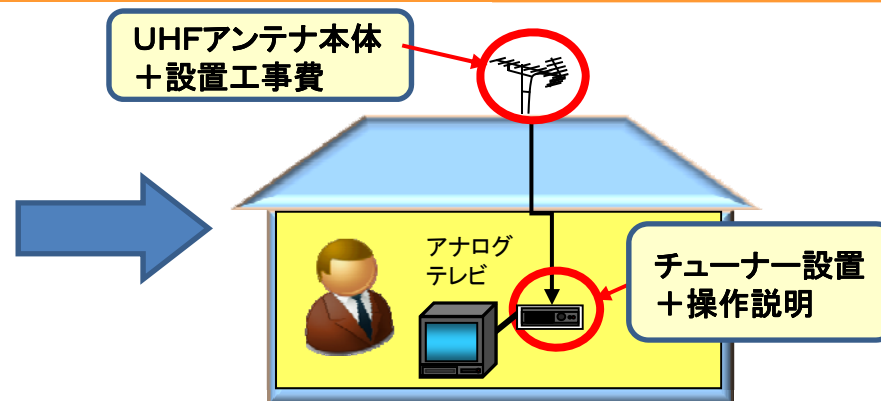
〔主な相談内容〕

相談内容	件数
【個別受信に関する相談】 ・地デジ対応の方法がわからない。 ・対応TVを購入したが受信できない。	773
【共聴受信に関する相談】 ・設備管理者がわからない。 ・地デジは戸別を検討しているがその方法 等を知りたい。	151
【集合住宅に関する相談】 ・施設管理者(大家)が対応してくれない。 ・設備の改修方法が知りたい。 ・簡易アンテナでも可能か。	113
【共聴施設の助成金に関する相談】 ・助成金が出ることを知らなかった。制度に ついて教えてほしい。	71
【アナログ放送終了に関する問い合わせ】 ・アナログ停波を延長してほしい。(延長 すべき) ・BSも停波するとは聞いていない等	49
【難視聴地域に対する今後の対策方法等 についての相談】 ・地域的に受信が難しい地域だが、今後の 対応方法が知りたい。	6
【ナビダイヤルに関する相談】 ・ナビダイヤルに繋がらない。 ・無料にすべき税金の無駄。	3

- ① 新聞各紙において、移行1年前を周知する大規模広告を実施。
- ② 全国各地で周知イベントを実施。
- ③ 応答件数の(1年前)には、IP電話を含む件数となっている。また、デジサポは運用前のため計上していない。

受信機器購入等支援の内容

- 1 「NHK受信料全額免除世帯」(最大270万世帯)を対象
 - (1)生活保護などの公的扶助世帯
 - (2)住民税非課税の障がい者世帯
 - (3)社会福祉事業施設入所者
- 2 「簡易なチューナー」の無償給付(1世帯に1台)
 必要な場合にはアンテナの無償改修等(工事費含む)



平成21年度の支援実施状況

平成22年6月末日

①申請受付数	②工事希望数	③工事実施数	④直接送付希望数	⑤直接送付数	⑥不支援数	⑦工事進捗率 ③+⑤+⑥ / ②+④
53,000	45,000	22,000	7,000	4,000	5,000	60%

※工事・直接送付未実施の支援対象者については、平成22年度に引き続き対応を行う。

平成22年度の支援実施状況

- 1 申請受付期間
 4月19日(月)から開始し、当初7月2日(金)までの受付期間を
12月28日(火)までに延期
- 2 申請受付状況
 6月末現在、全国約22万件・道内約1万3千件
 (平成22年度分の全国での予定受付件数は、120万件)

今後の対応

- 1 支援対象者への確実な周知が必要なことから、道内全自治体への協力依頼の訪問説明を取組中。
- 2 自治体広報誌、放送事業者の協力による周知を依頼を実施。

地上デジタル放送に関するお問い合わせ先



総務省 地デジコールセンター

ナビダイヤル **0570-07-0101**

(IP電話等、上記でつながらない場合 電話 03-4334-1111)

<デジサポ道央> 電話 **011-351-1155**

<デジサポ道北> 電話 **0166-30-0101**

<デジサポ道東> 電話 **0154-99-0101**

<デジサポ道南> 電話 **0138-38-0101**

【上記いずれも受付時間は】平日 午前9時～午後9時（土・日・祝日は午後6時まで）

デジタル放送完全移行

2011年7月24日まであと **334**日

現在のアナログ放送は終了いたします

本資料についてのお問い合わせ先

北海道総合通信局 ☎ 011-709-2311

- I 新たな難視の現状 ☆☆☆ 情報通信部放送課 大石（内線4662）
- II 受信障害対策共聴施設のデジタル化の現状
☆☆☆ 情報通信部有線放送課 日向寺（内線4672）
- III 視聴者の受信対策支援
☆☆☆ デジタル放送受信者支援室 田向（内線4670）

- 本説明会について ☆☆☆ 総務部総務課企画広報室 太田（内線4682）